

令和6年度「災害時における相互支援に関する協定」に基づく 訓練の実施について

1 「災害時における相互支援に関する協定」について

(1) 協定の概要

- | | |
|--------|---|
| ○ 協定主体 | 県及び幼稚園連合会、保育連盟連合会及び認定こども園協会（以下、「3団体」という。） |
| ○ 支援内容 | 可能な範囲での職員の派遣、こどもの受入、物資の提供 |
| ○ 事務手続 | 県及び3団体事務局の関与 |
| ○ 費用負担 | 無償 |
| ○ 平常時 | 連絡体制の確立及び訓練の実施 |

(2) 締結に至る経緯

① 平成29年2月14日

- ・ 第12回子ども・子育て支援会議の結果、相互応援の仕組みづくりについて言及があり、関係3団体との協議を開始。

② 平成29年9月8日

- ・ 協定締結

2 訓練の概要

(1) 実施日時

令和6年10月10日（木） 午後2時～5時30分

(2) 災害の想定

10月9日（訓練前日）に、台風による園舎冠水が発生

(3) 支援の想定

県央、県北、県南地区の3つの被災園に対し、職員の派遣やこどもの受入、物資の提供について、県央、県北、県南地区にある6園が支援することを想定

(4) 訓練の方法

県及び3団体事務局を介して、メール及び電話確認により、被災園と支援園における相互支援のマッチングを実施

3 訓練参加者の感想アンケート(調査結果)

(1) 回答者情報

12者（内訳は、事務局3団体 被災園3園、支援可能園6園）

(2) アンケート結果

① 参加してみたの感想

→ 12者（12者中）が、「今回の訓練に参加して良かった」と回答

(主なコメント:参加して良かった理由など)

- ・実際に災害が起こった際に、どのような流れで被災園へ支援されるのか理解できた。
- ・当園の防災計画について考え直すきっかけとなると感じました。
- ・普段関わりのない方と連携という形でやりとりできて良い経験となりました。

② 実施時期や時間

→ 12者のうち、9者の参加者が、「実施時期や時間は適当だった」と回答

③ 被災内容を事前に決めず本番を想定して実施した意見

→ 12者のうち、7者の参加者が、「本番を想定し事前に決めずに実施した方が良い」と回答

④ 来年度以降の訓練内容

→ 12者のうち、8者の参加者が、「今回と同じようなメール及び電話による伝達訓練を、対象地域や対象園を変えて実施した方が良い」と回答

⑤ その他、意見や感想

- ・離れた自治体には園児の受け入れなど要請しにくい点はあるが様々な要請をマッチングさせるには同一自治体と離れた自治体両方入っていたほうがよいのではないかと思う。
- ・特に自分がメールを打つのが遅いこともあり、何が必要なのか考えながら連絡すると時間がかかるので、食品・水、衛生用品、衣料、・・・などとくくりがあると考える手立てになると思いました。
- ・すべての施設が訓練に参加できているわけではないし、一度参加しただけでは慣れないと思うので、可能であればすべての施設が複数回訓練に参加できるとよいと思った。